

別表9 防音シートの性能


1 構造

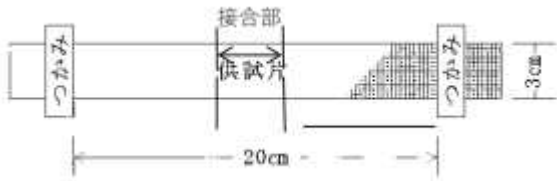
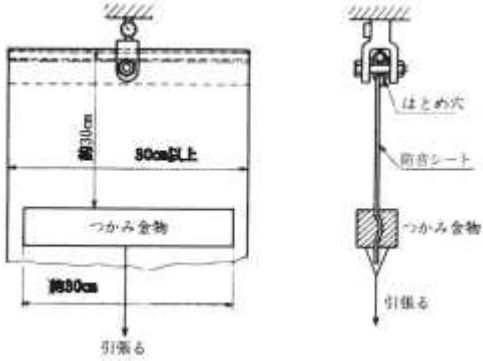
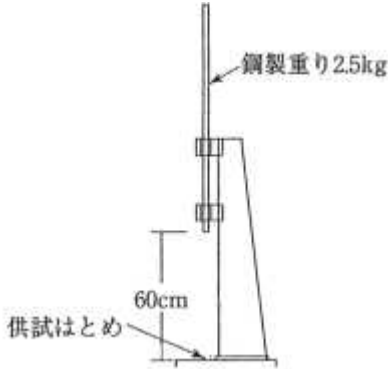
防音シートの構造は、次に定めるところによること。

- (1) 防音シートのシート地は、切れ、ほつれ、ゆがみ、織りむら等の使用上有害な欠点があってはならないこと。
- (2) 防音シートの各辺の縁部は、はとめ等が容易に外れない構造のものであること。
- (3) 防音シートは、端部に回折防止に有用なフラップ等を有し、その幅が10cm以上であること。
- (4) 装着部のはとめにおいては、次のいずれにも該当するものであること。
  - ア はとめの位置は、ピッチ35cm以下のものであること。
  - イ はとめの穴の大きさは、内径10mm以上のものであること。
  - ウ 防音シートの端部からはとめの穴の中心部までの距離が1.7cm以上のものであること。

2 強度等

防音シートは、次の表の左欄に掲げる試験方法による試験を行った場合に、同表の右欄に掲げる強度等を有するものであること。ただし、接合部の引張試験はシート地に接合部（フラップ部、はとめ部を除く。）がある場合に、合成樹脂製はとめの衝撃試験は、はとめが合成樹脂の場合に行うものとする。

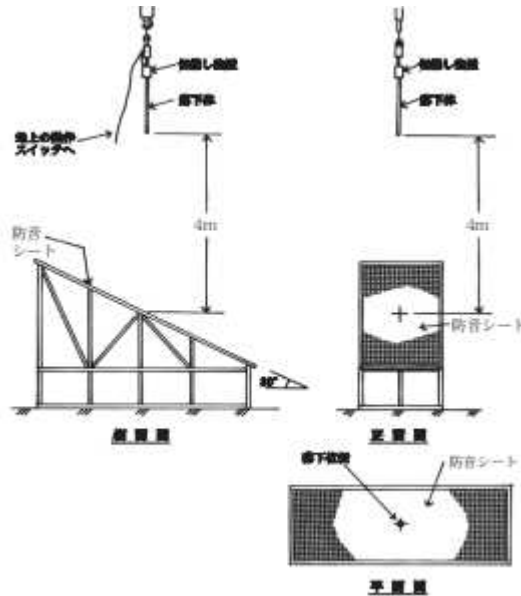
試 験 方 法	強 度 等
<p>(シート地の引張試験)</p> <p>次の図に示すように、シート地より取り出した幅3cmの供試片を、つかみ間隔が20cmとなるように試験機に取り付け、<math>20 \pm 1</math> cm/minの引張速度で試験を行い、荷重の最大値及びそのときの伸びを測定する。</p>  <p style="text-align: center;">シート地の引張試験の例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 荷重の最大値が、1.47kN以上であること。</li> <li>2 荷重の最大値(kN)と伸び(mm)との積の値が68.6kN・mm以上であること。</li> </ul> <p>(上記1、2とも縦方向、横方向のうち弱い方向の値をいう。)</p>
<p>(シート地の接合部の引張試験)</p> <p>次の図に示すように、シート地より取り出した幅3cm供試片を、つかみ間隔が20cmかつ接合部がほぼ中央部となるように試験機に取り付け、<math>20 \pm 1</math> cm/minの引張速度で試験を行い、荷重の最大値及びそのときの伸びを測定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 荷重の最大値が、1.47kN以上であること。</li> <li>2 荷重の最大値</li> </ul>

 <p style="text-align: center;">シート地の接合部の引張試験の例</p>	<p>(kN) と伸び (mm) との積の値が 68.6kN・mm以上であること。</p>
<p>(はとめ等の装着部の引張試験)</p> <p>次の図に示すように、防音シートの縦方向及び横方向のそれぞれについて防音シートの縁から 30 cmのところを、はとめ等がほぼ中央となるように長さ約 30 cmのつかみ金物で固定して試験機に取り付け、徐々に引張り、はとめ等がシート地から外れるか、はとめ等の周辺のシート地又は縫目が破れるときの荷重の最大値を測定する。</p>  <p style="text-align: center;">はとめ等の装着部の引張試験の例</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 荷重 0.49kN のときまでに外れ、破れ等の異常がないこと。</li> <li>2 荷重の最大値が、0.98kN 以上であること。</li> </ol>
<p>(合成樹脂製はとめの衝撃試験)</p> <p>次の図に示すように、防音シートより取り出したはとめの中央部に、質量 2.5 kgの鋼製重りを高さ 60 cmより落下させ、はとめの異常の有無を調べる。</p>  <p style="text-align: center;">合成樹脂製はとめの衝撃試験の例</p>	<p>割れ、ひび等が生じないこと。</p>

(落下試験)

次の図に示すように、防音シートを水平に対し 30 度の傾斜を有するフレームわくに取り付け、フレーム縁面レベルから上方 4 m の高さより円筒チップを下方にした状態の落下体を自由落下させる。また、落下点は防音シートの中心とする。なお、落下体は、外径 48.6 mm の鋼管に円筒チップを取り付けたもので、質量 4.8 kg とする。

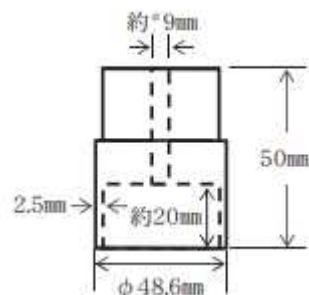
落下体が防音シートを貫通しないこと。



落下試験の例

落下試験に用いる円筒チップは、次の図に示す形状及び寸法のものとし、材料は JISG3101 (一般構造用圧延鋼材) に定める SS400 の規格に適合するもの又はこれと同等以上の機械的性質を有するものとする。

なお、円筒チップの先端は面取り等を行わないものとする。



円筒チップの形状、寸法